

茨城県内の景況天気図は「曇り」

筑波銀行(頭取:木村 興三、本店:茨城県土浦市)は、茨城県内企業経営動向調査(調査基準月 平成24年3月)を実施し、調査結果を取り纏めましたので公表します。

1. 景況天気図は引き続き「曇り」、景況天気図平均値は5ポイントの改善、3期連続の改善となった

	前回調査実績 2011/10~12	今回調査実績 2012/1~3	前回調査との比較
全産業	△ 14 	△ 9 	5
製造業	△ 10 	△ 12 	△ 2
非製造業	△ 16 	△ 7 	9

※景況天気図平均値は「売上・生産DI値」・「経常利益DI値」・「資金繰りDI値」の平均値です。

景況天気図(売上・生産DI、経常利益DI、資金繰りDI)の平均値で表した茨城県内企業の全産業の景況感(景況感)は、全産業で前回調査(2011年10~12月)と同じ「曇り」となり、景況天気図平均値は△9で前回調査実績より5ポイント改善した。製造業は、前回調査と同じ「曇り」となり、平均値は△12で前回調査実績より2ポイント悪化した。非製造業は、前回調査と同じ「曇り」となり、平均値は△7で前回調査実績より9ポイント改善した。

なお、景況天気図の平均値の改善状況は3期連続の改善となった。

2. 自社業況判断は「悪化」超幅が14.3縮小し、3期連続の改善となった

	2011/7~9	2011/10~12	2012/1~3		2012/4~6		2012/7~9
	前々回調査実績	前回調査実績	今回調査実績	前回見通し	今回見通し	前回見通し	今回見通し
全産業	△ 23.2	△ 19.9	△ 5.6	△ 9.3	△ 2.2	△ 6.0	3.6
製造業	△ 20.5	△ 19.7	△ 11.8	△ 6.9	0.0	△ 0.8	6.9
非製造業	△ 24.5	△ 19.9	△ 2.7	△ 10.5	△ 3.1	△ 8.3	2.1

※自社業況判断DI=「好転」企業割合-「悪化」企業割合

自社業況判断DIは、全産業で△5.6となり前回調査実績に比べ14.3ポイント「悪化」超幅が縮小した。製造業は△11.8となり同7.9ポイント「悪化」超幅が縮小し、非製造業は△2.7となり同17.2ポイント「悪化」超幅が縮小した。自社業況判断DI値の改善は3期連続となった。

3. 設備投資実施した企業の割合全産業は、26.3%と前回調査実績に比べ0.3ポイント減少し、震災後の実績ではピークアウトした

(単位:%)

	実施企業割合(合計)	1千万円以上の実施企業割合	1千万円未満の実施企業割合
全産業	26.3	11.9	14.4
製造業	28.7	9.6	19.1
非製造業	25.2	13.0	12.3

設備投資実施した企業の割合、全産業は26.3%と前回調査実績に比べ0.3ポイント減少した。製造業は28.7%で同5.1ポイント減少し、非製造業は25.2%で同1.8ポイント増加した。

4. 経営上の問題点

調査先企業の抱えている経営上の問題点第1位は、「売上・生産の停滞、減少」でした

第1位: 全産業、製造業、非製造業とも「売上・生産の停滞、減少」

第2位: 全産業と非製造業は「原材料・仕入高」、製造業は「原材料・仕入高」・「製品・商品安」

第3位: 全産業と非製造業は「人件費等経費増加」、製造業は「合理化・省力化不足」

5. 調査の概要

(1) DI値の算出方法

前年同期に比較して「好転」・「増加」・「上昇」した(もしくはする見通し)と回答した企業の割合から、「悪化」・「減少」・「低下」した(もしくはする見通し)と回答した企業の割合を差し引いて算出する。

(2) 調査実施時点 : 2012年3月

(3) 調査対象期間 : 2012年1~3月実績

2012年4~6月・2012年7~9月見通し

(4) 調査の方法 : 郵送による記名式アンケート

(5) 調査対象 : 弊社取引先茨城県内企業 1,056 先

(6) 回答企業数 : 437 先

報道機関のお問合せ先

筑波銀行 総合企画部広報CSR室 田村 内線3730

TEL 029-859-8111